

奄美群島の現状

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 奄美群島の概況 | P1 |
| (2) 奄美群島の基本データ | P2 -P6 |
| (3) 奄美群島の産業に関するデータ | P7 -P16 |
| (4) 奄美群島の交通や基本インフラに関するデータ | P17-P19 |
| (5) 奄美群島の生活に関するデータ | P20-P21 |

(1)奄美群島の概況(歴史的・自然的・地理的特性)

沿革

- 昭和28年 戦後、米軍統治及び米国施政権の下にあったが、日本に返還され、鹿児島県の行政管理下に編入される
- 昭和29年 奄美群島復興特別措置法制定(その後約5年ごとに期限を延長)
- 平成31年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正
(法期限を令和5年度末まで5か年延長)
法に基づき、奄美群島振興開発基本方針及び奄美群島振興開発計画(鹿児島県)を策定

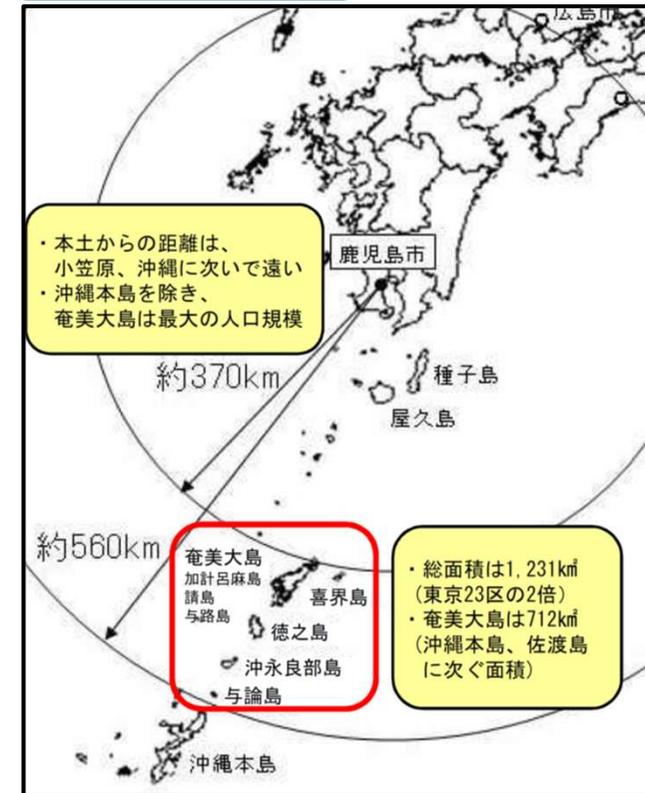
概況

- ・人口: 104,281人(令和2年10月1日国勢調査)
[参考]昭和30年国勢調査 205,363人
- ・行政組織: 12市町村(奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町)
- ・産業: <農業>
さとうきび、花き(キク、ユリ、ソリダゴ、グラジオラス)、
野菜(ばれいしょ、さといも、かぼちゃ)、肉用牛、
果樹(タンカン、ポンカン、すもも)
<水産業>クルマエビ、マグロ、カツオ、イカ
<製造業>黒糖焼酎、大島紬
<観光>入込客数: 年間約89万人(R1年)
年間約56万人(R3年)
- ・備考: 台風の常襲地帯、特殊病害虫の発生、ハブの生息地

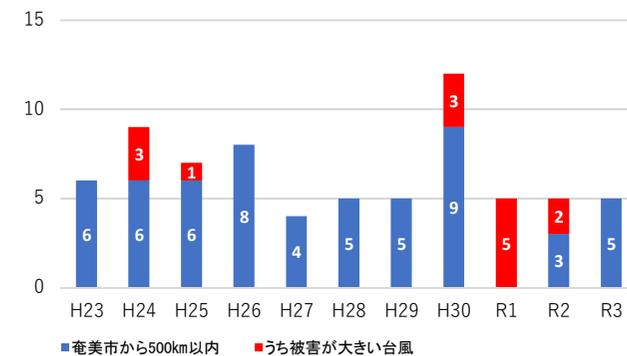
主要指標の比較

項目	年次	奄美	鹿児島県	沖縄県	全国
人口増減率 (R2/H27)	R2	△5.3%	△3.6%	2.4%	0.7%
65歳以上人口構成比	R2	35.0%	31.9%	22.1%	28.0%
1人あたり所得(千円)	R1	2,371	2,558	2,396	3,181
1人あたり所得対全国比	R1	74.5%	80.4%	75.3%	100.0%
生活保護率	R3	4.38%	1.86%	2.23%	1.62%
市町村財政力指数	R2	0.16	0.29	0.40	0.51

位置

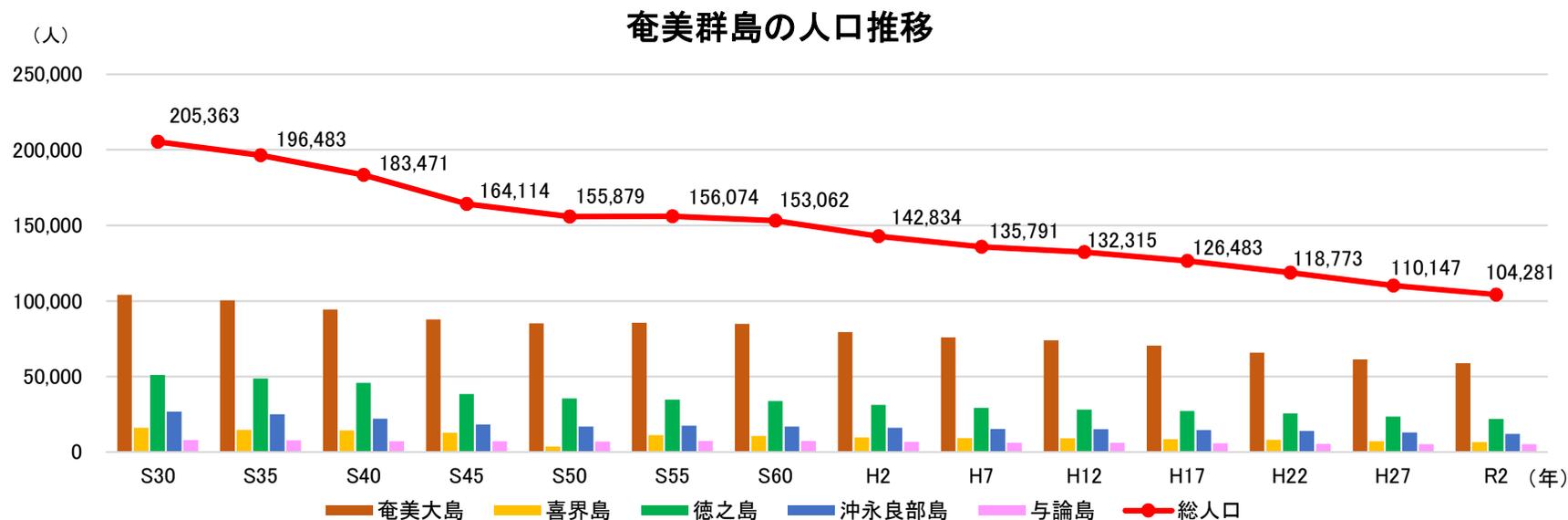


接近台風数等の推移



出典: 奄美群島の概況

(2)奄美群島の基本データ(人口推移)



	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
奄美大島	103,907	100,247	94,348	87,674	85,171	85,600	84,799	79,302	75,832	73,896	70,462	65,770	61,256	58,738
喜界島	16,037	14,738	14,231	12,725	11,464	11,169	10,591	9,641	9,268	9,041	8,572	8,169	7,212	6,629
徳之島	50,932	48,644	45,662	38,409	35,391	34,646	33,632	31,231	29,156	28,108	27,167	25,587	23,497	21,803
沖永良部島	26,636	25,062	22,049	18,210	16,882	17,339	16,818	15,956	15,325	15,171	14,551	13,920	12,996	11,996
与論島	7,851	7,792	7,181	7,096	6,971	7,320	7,222	6,704	6,210	6,099	5,731	5,327	5,186	5,115
総人口	205,363	196,483	183,471	164,114	155,879	156,074	153,062	142,834	135,791	132,315	126,483	118,773	110,147	104,281

※奄美大島には、請島、与路島、加計呂島を含む。

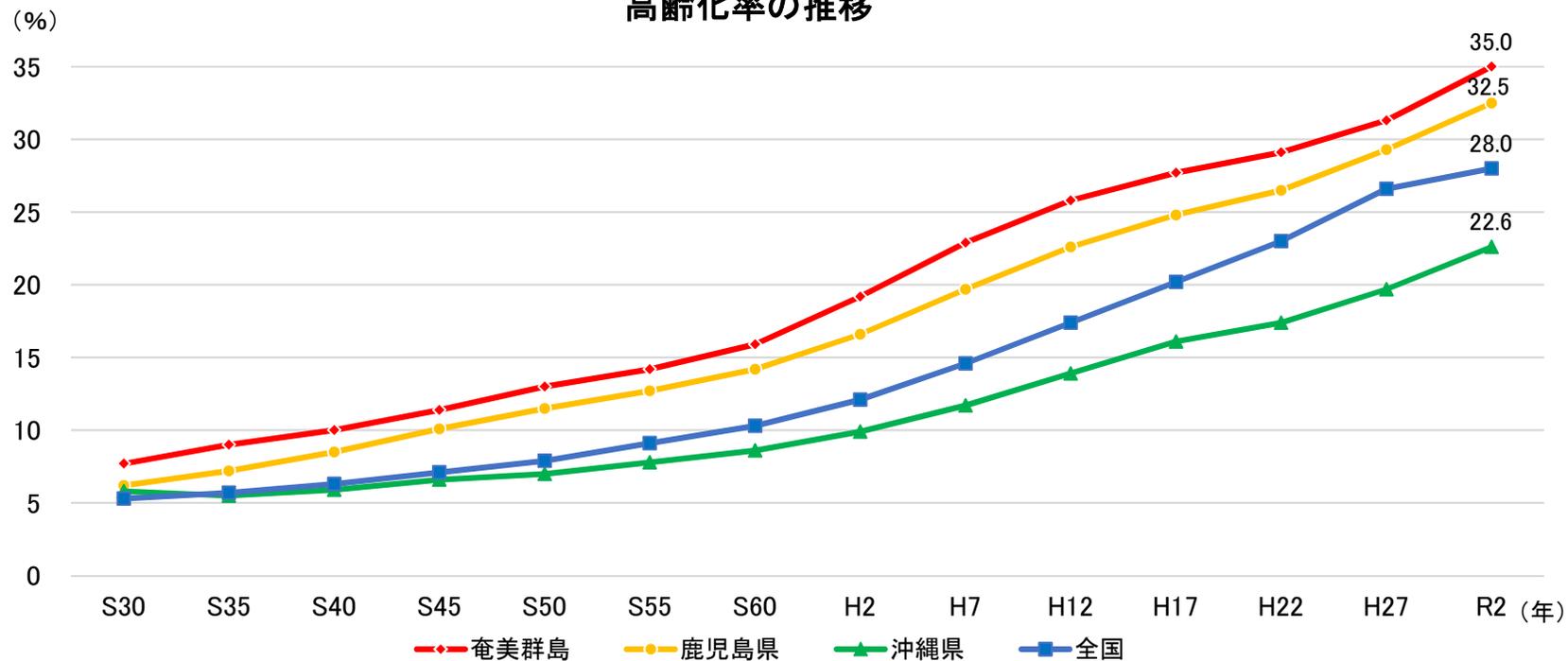
出典: 国勢調査

現 状

- ・奄美群島全体の人口は、令和2年国勢調査で104,281人。昭和30年国勢調査時からほぼ半減している。

(2)奄美群島の基本データ(高齢化率)

高齢化率の推移



(単位: %)

	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
奄美群島	7.7	9.0	10.0	11.4	13.0	14.2	15.9	19.2	22.9	25.8	27.7	29.1	31.3	35.0
鹿児島県	6.2	7.2	8.5	10.1	11.5	12.7	14.2	16.6	19.7	22.6	24.8	26.5	29.3	32.5
沖縄県	5.8	5.5	5.9	6.6	7.0	7.8	8.6	9.9	11.7	13.9	16.1	17.4	19.7	22.6
全国	5.3	5.7	6.3	7.1	7.9	9.1	10.3	12.1	14.6	17.4	20.2	23.0	26.6	28.0

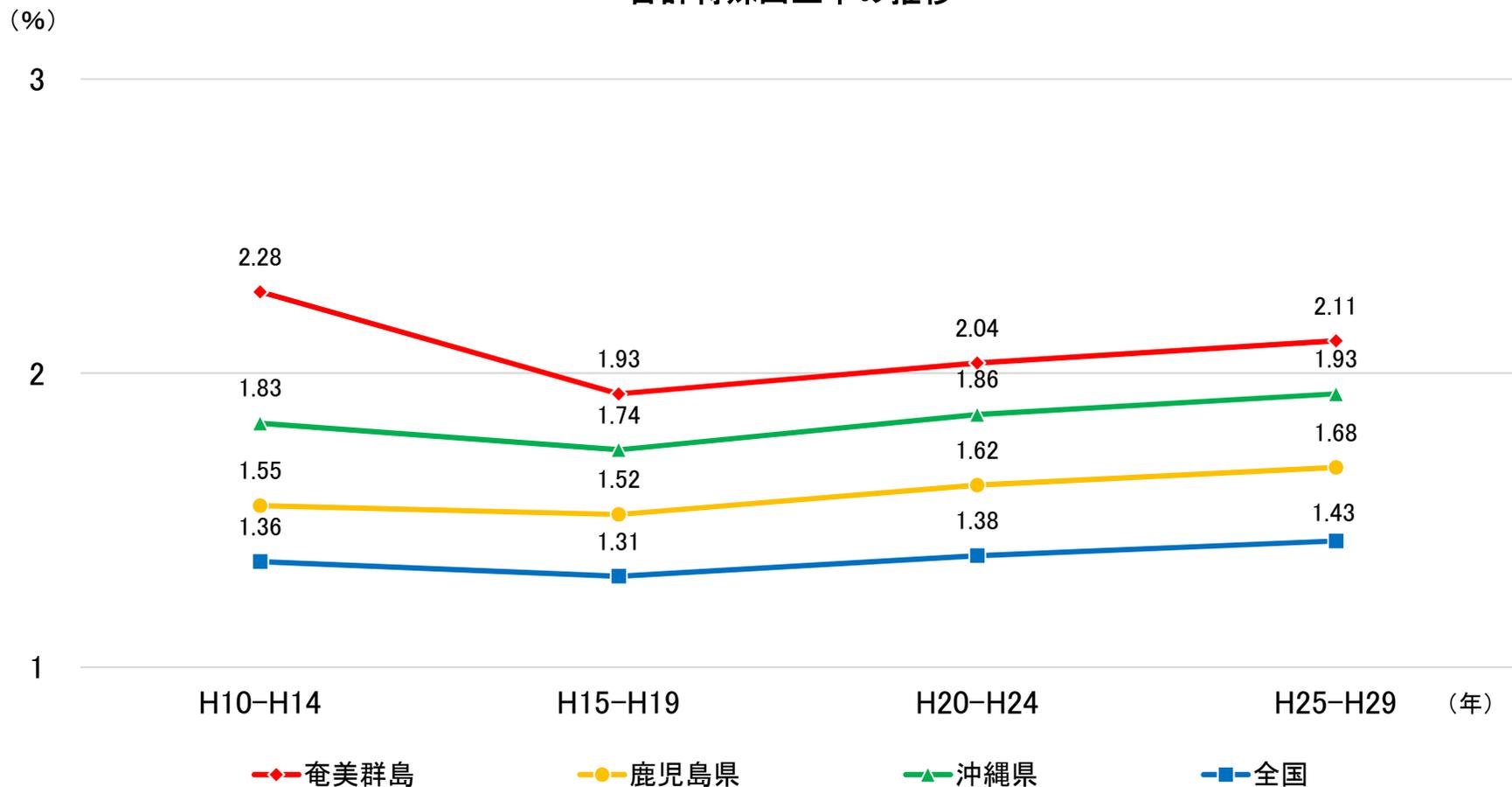
出典: 国勢調査

現 状

- ・ 奄美群島の高齢化率（65歳以上人口の割合）は、鹿児島県、沖縄県、全国に比べ、一貫して高い状況にあり、令和2年は35.0%。

(2)奄美群島の基本データ(合計特殊出生率)

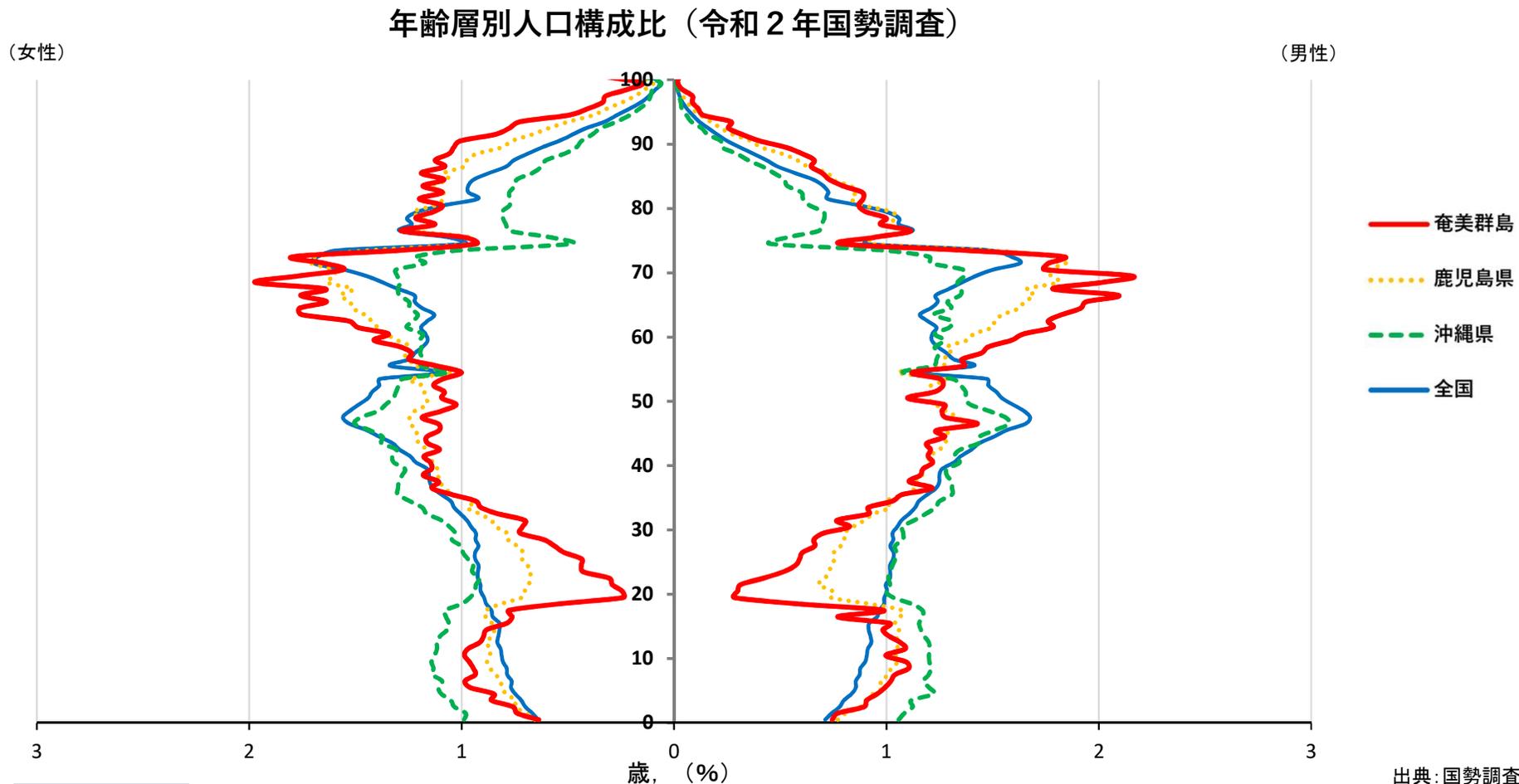
合計特殊出生率の推移



現 状

- ・ 奄美群島の合計特殊出生率は、鹿児島県、沖縄県、全国に比べ、一貫して高い状況にあり、平成25年から平成29年は2.11%。

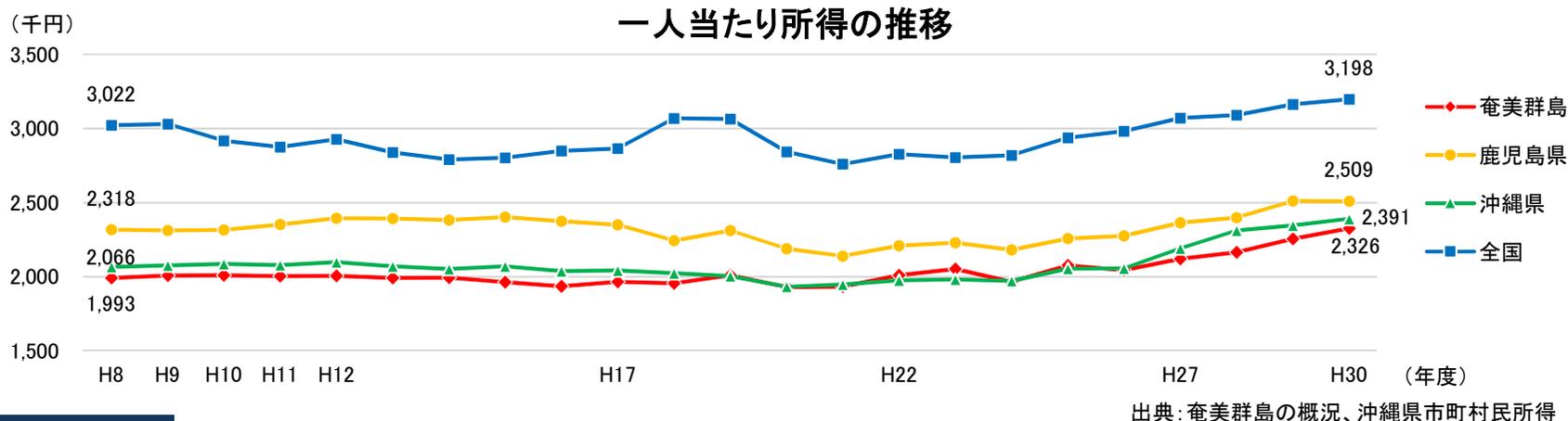
(2)奄美群島の基本データ(年齢層別人口)



現 状

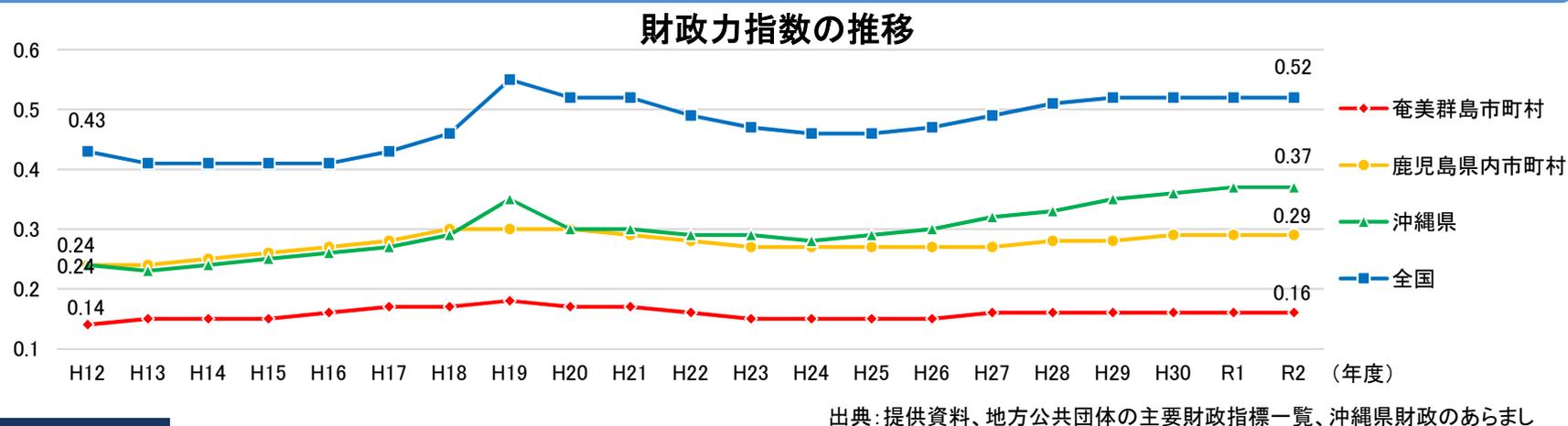
- ・ 奄美群島では、全国と比較して年少人口と老年人口の割合が高く、生産年齢人口の割合は低くなっている。
- ・ 20歳前後の人口割合は、高等学校卒業後に本土の大学へ進学することなどにより低くなっている。

(2)奄美群島の基本データ(一人当たり所得・財政力指数)



現 状

- ・ 奄美群島の一人当たり所得は、鹿児島県、全国と比べ低い状況にある。



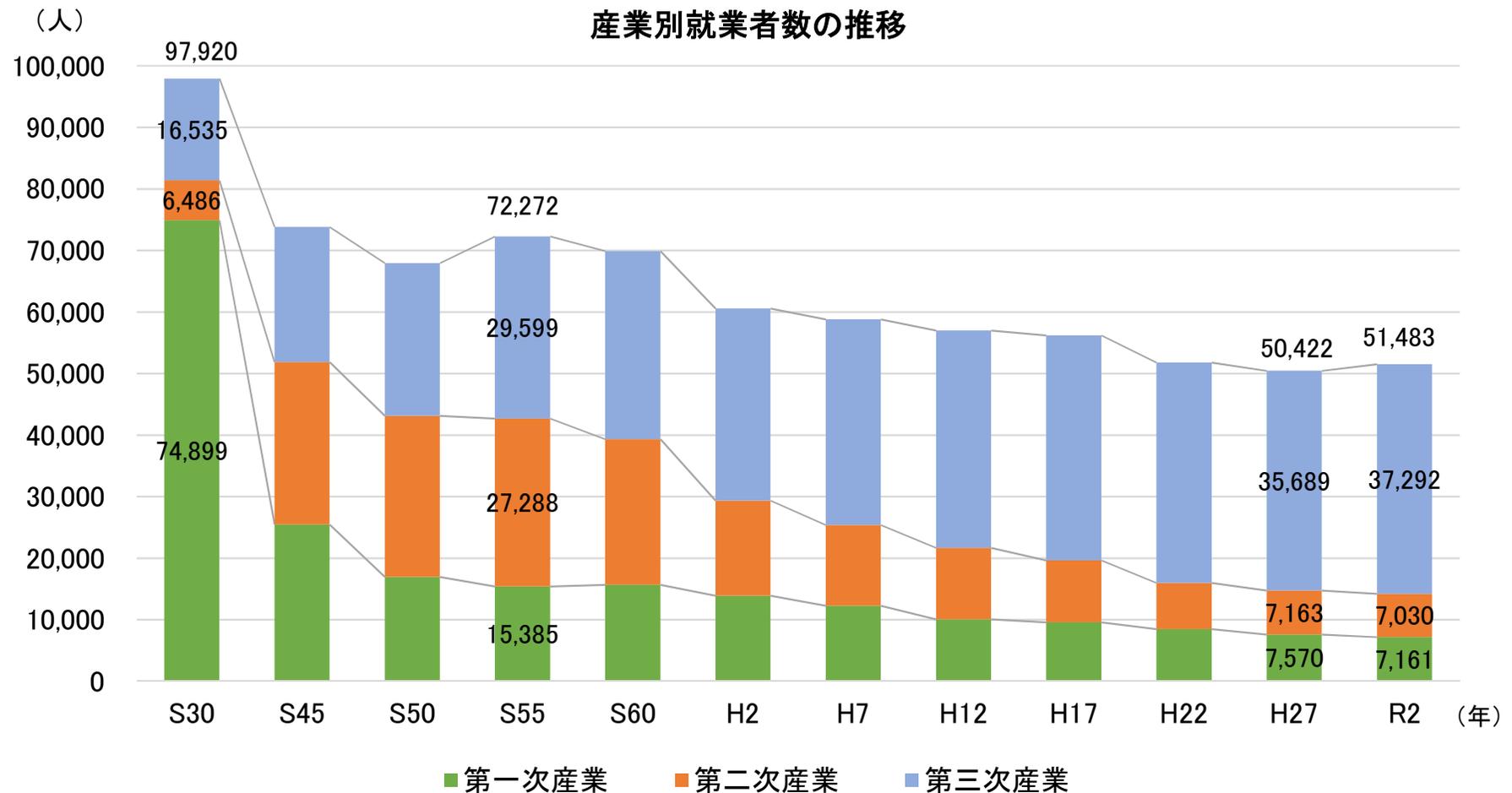
現 状

- ・ 奄美群島市町村の財政力指数は、鹿児島県内市町村、沖縄県、全国と比べ低い状況にある。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。(総務省HPより)

(3)奄美群島の産業に関するデータ(産業別就業者数)

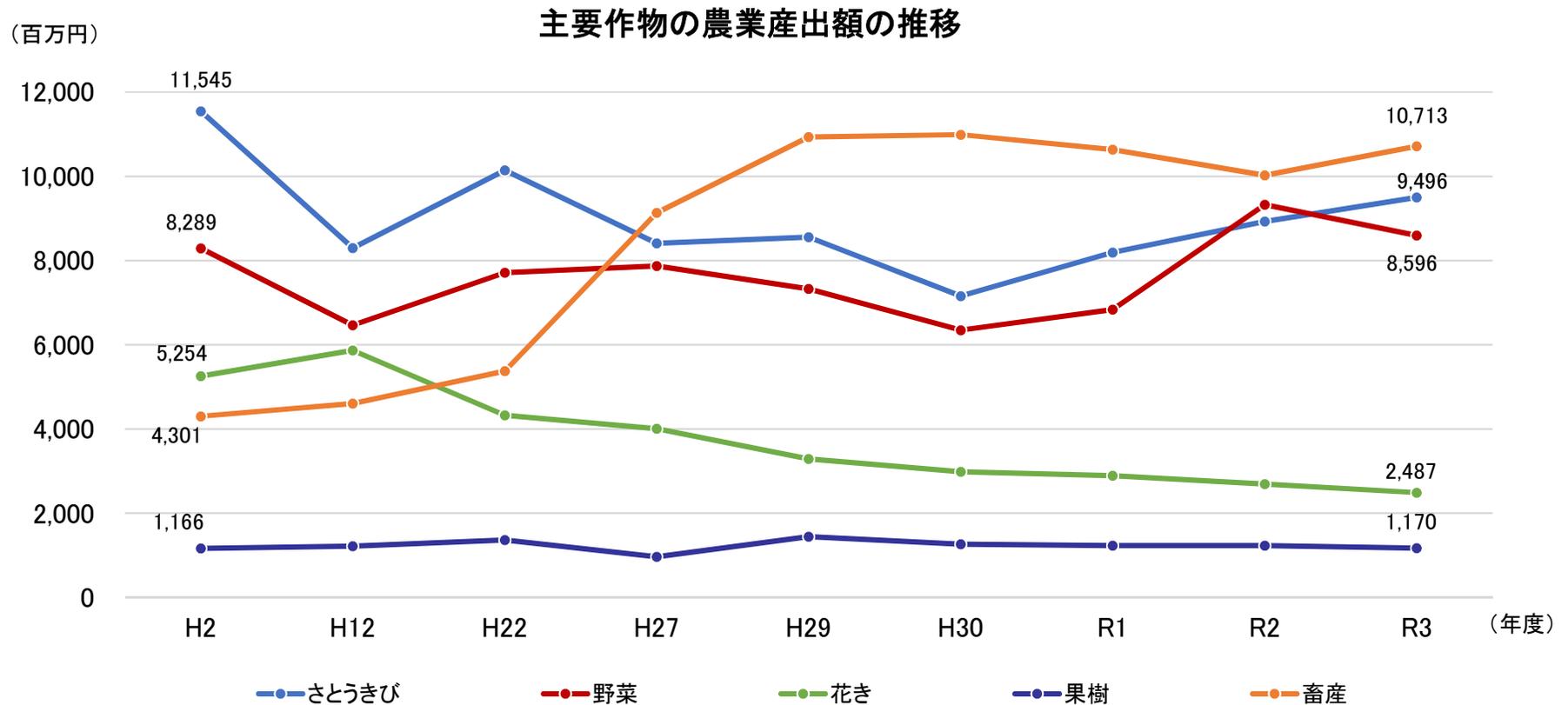


出典: 国勢調査

現 状

- ・ 産業構造の変化により、第一次産業と第二次産業の就業者数は減少傾向にある。
- ・ 第二次産業の就業者数の減少は、大島紬の衰退によるところが大きいと考えられる。

(3)奄美群島の産業に関するデータ(主要作物の農業産出額)

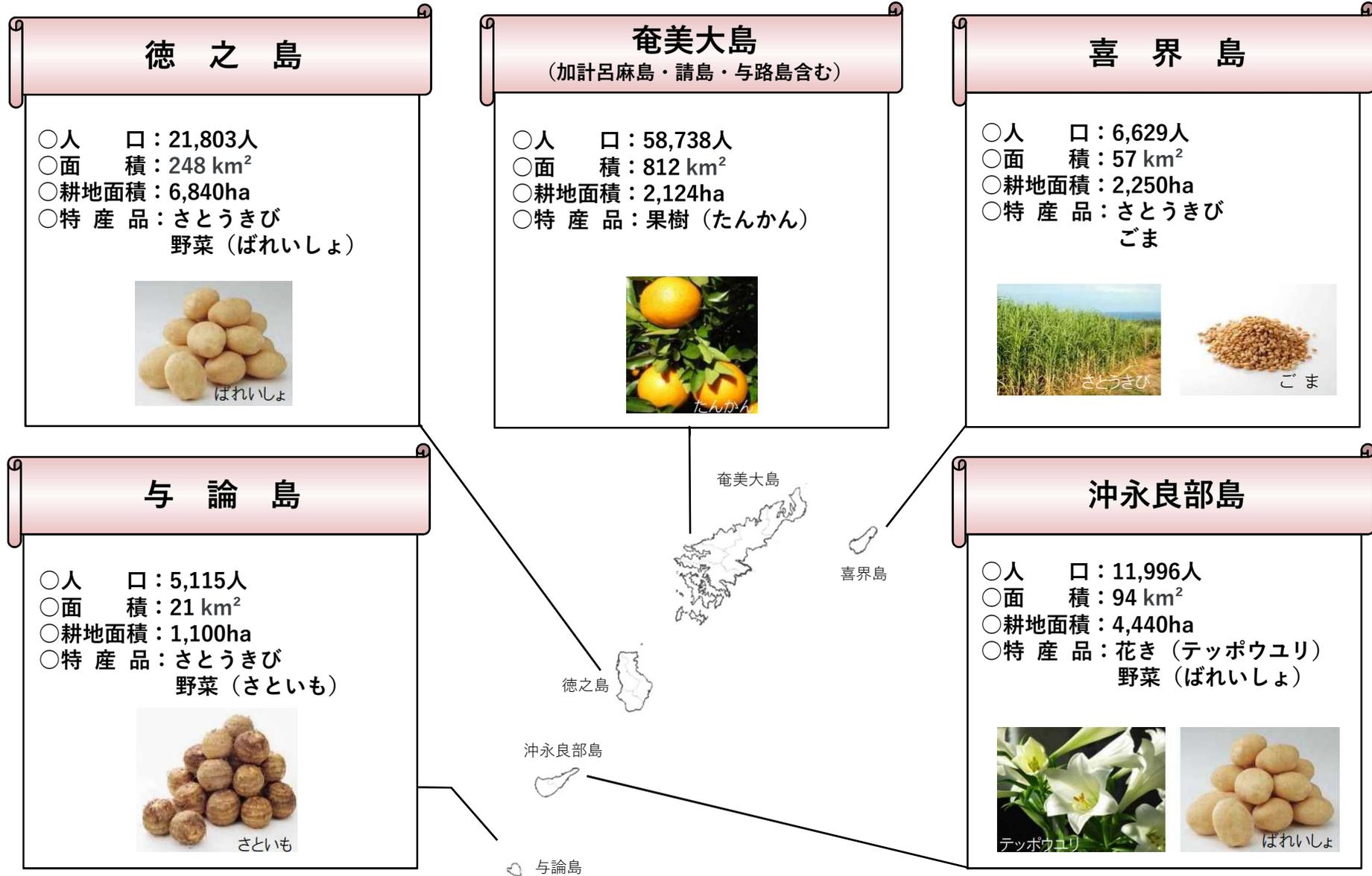


出典:奄美群島の概況

現 状

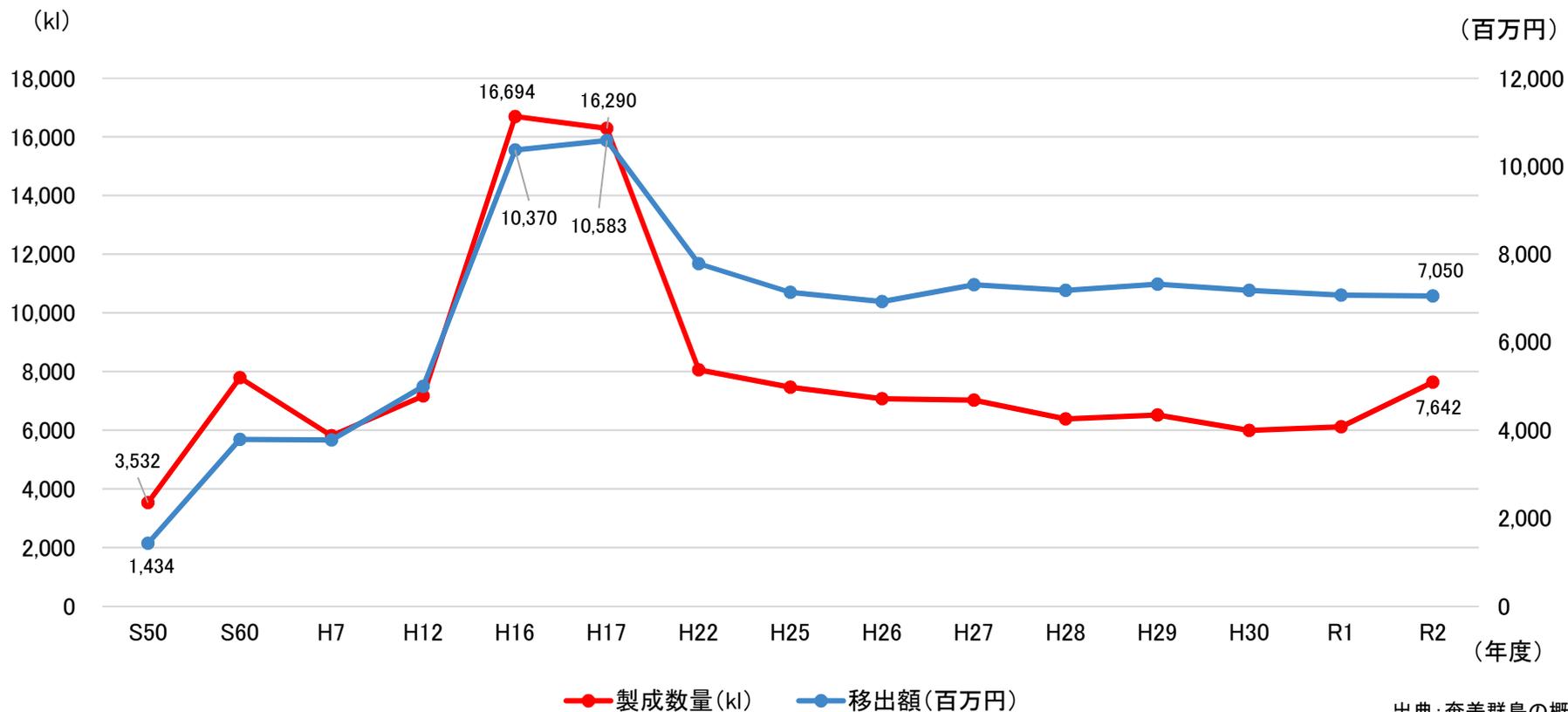
- ・ 主要作物であるさとうきびは減少傾向にあったが、近年は持ち直している。
- ・ 畜産の産出額は平成22年度以前に比べ倍増しており、子牛のせり価格の上昇によるところが大きいと考えられる。

(3)奄美群島各島の特産品(農産物)



(3)奄美群島の産業に関するデータ(黒糖焼酎)

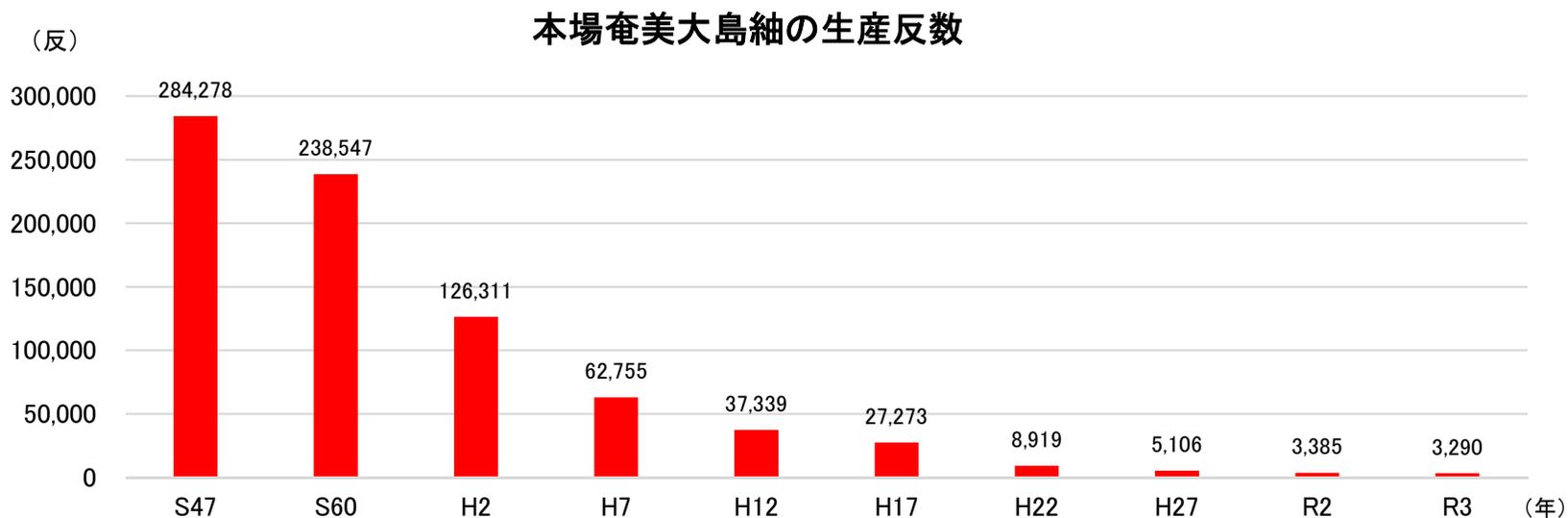
黒糖焼酎の製成数量、移出額の酒造年度別推移



現 状

- ・黒糖焼酎の製成数量・移出額は、平成14～18年ごろの焼酎ブームが落ち着いた後は、一定水準で推移している。

(3) 奄美群島の産業に関するデータ(本場奄美大島紬)



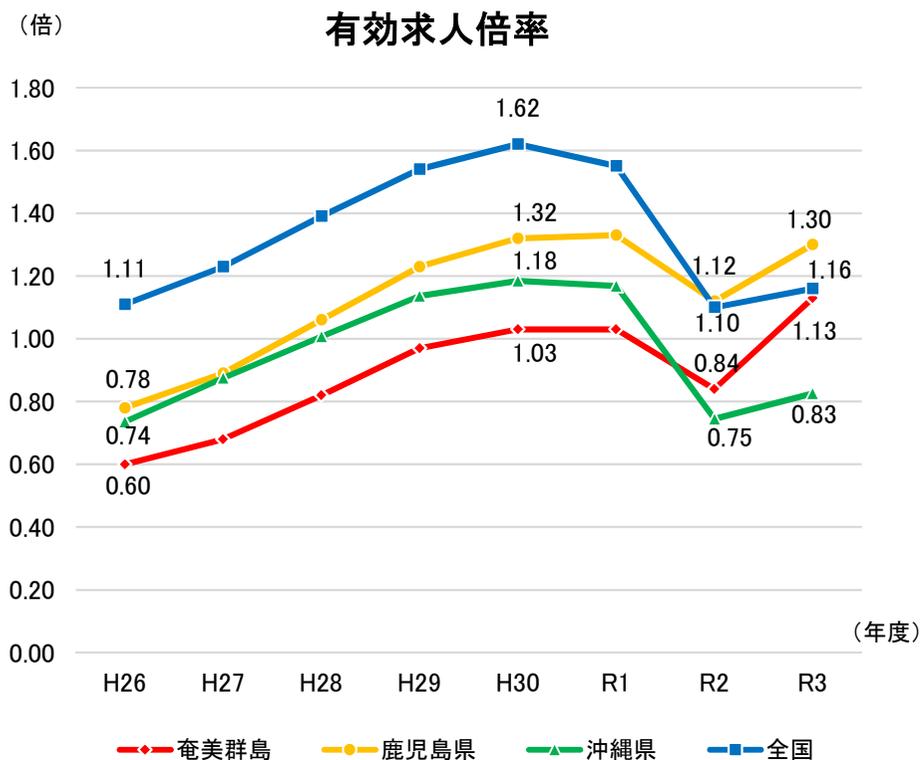
【島別内訳】	S47	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R3
奄美大島	281,146	227,275	121,501	60,028	36,338	26,606	8,849	5,096	3,385	3,290
喜界島	886	7,770	4,378	2,569	944	667	69	8	0	0
徳之島	2083	2671	212	0	48	0	0	0	0	0
沖永良部島	93	740	220	84	9	0	0	0	0	0
与論島	70	91	0	74	0	0	1	2	0	0
合計	284,278	238,547	126,311	62,755	37,339	27,273	8,919	5,106	3,385	3,290

出典: 奄美群島の概況

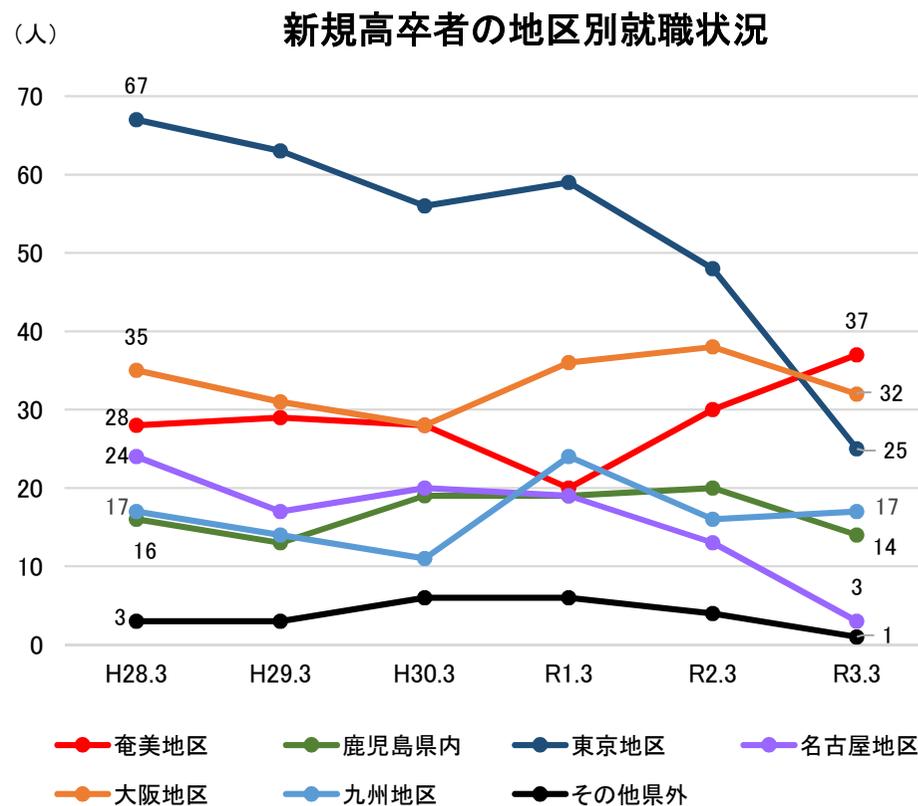
現 状

- ・ 生産が大幅に減少しており、令和2年以降は奄美大島のみで生産が行われている。

(3) 奄美群島の産業に関するデータ(雇用に関する状況)



出典: 厚生労働省

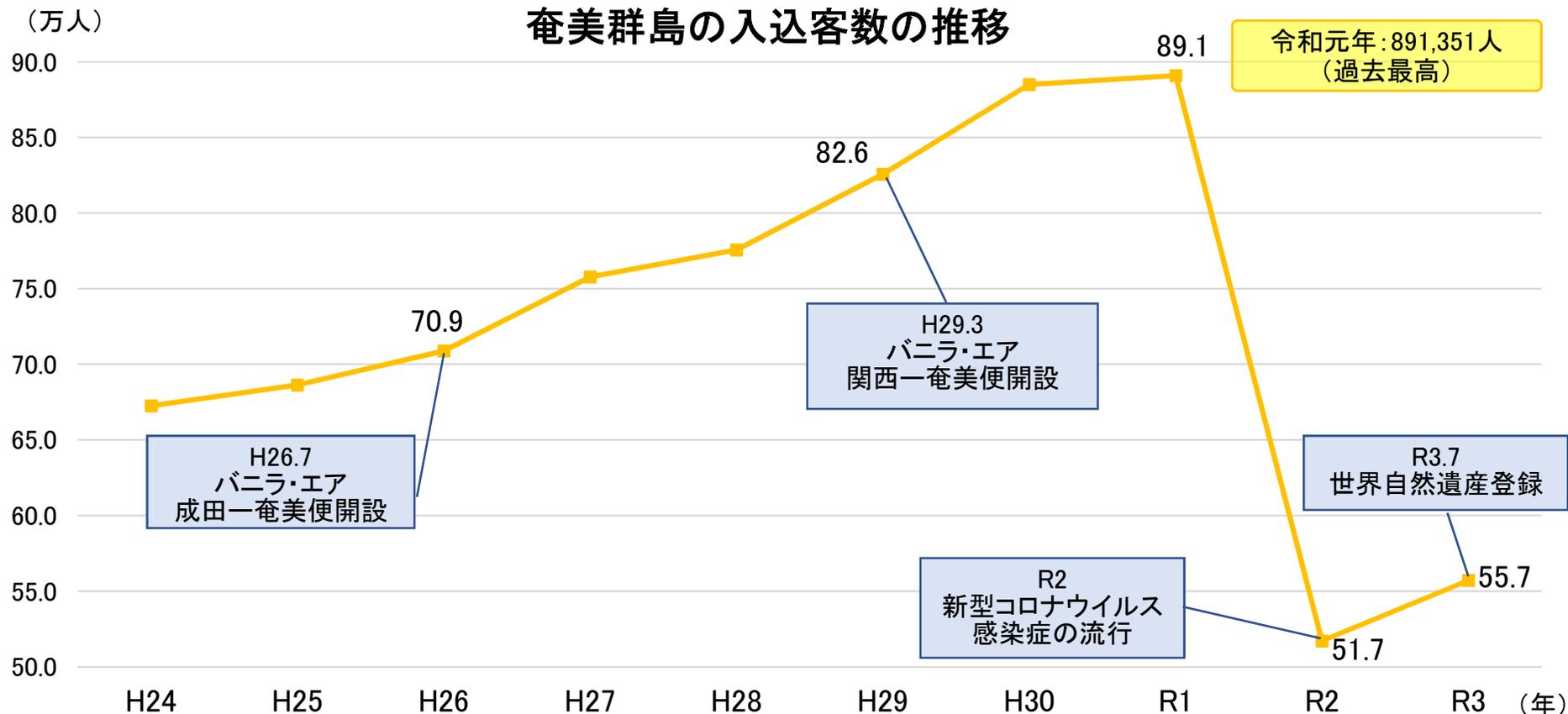


出典: 奄美群島の概況

現 状

- ・ 有効求人倍率は令和2年度以降、沖縄県より高くなっている。
- ・ 新規高卒者については、近年奄美地区での就職が増加傾向にあり、令和3年は奄美地区での就職が一番多くなっている。

(3)奄美群島の産業に関するデータ(入込客数)

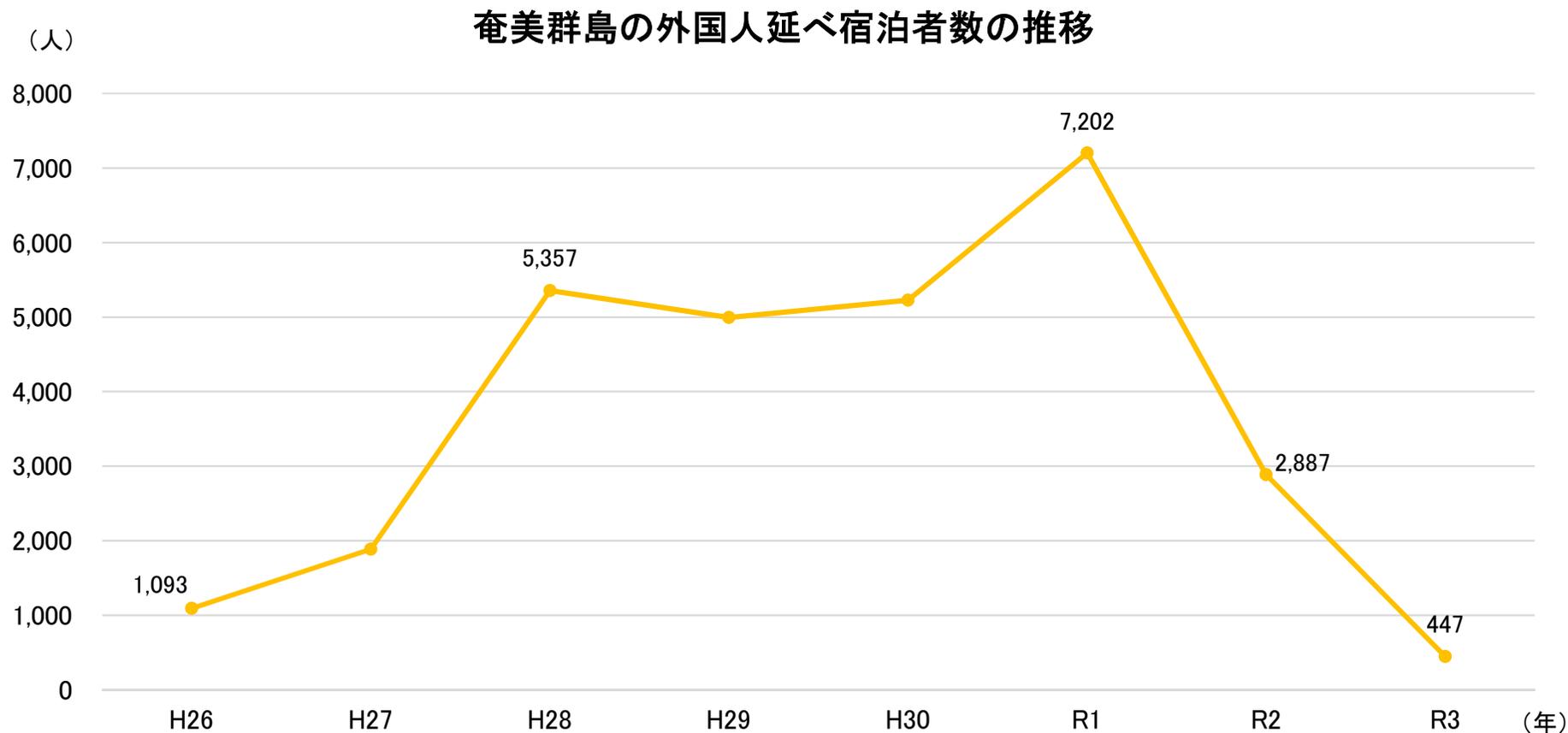


出典: 奄美群島観光統計(奄美群島への)入込・入域客数

現 状

- ・ 奄美群島の入込客数は平成24年から着実に増加し、令和元年には過去最高の89万人台に達した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年は大きく減少したものの、回復しつつある。

(3)奄美群島の産業に関するデータ(外国人延べ宿泊者数)

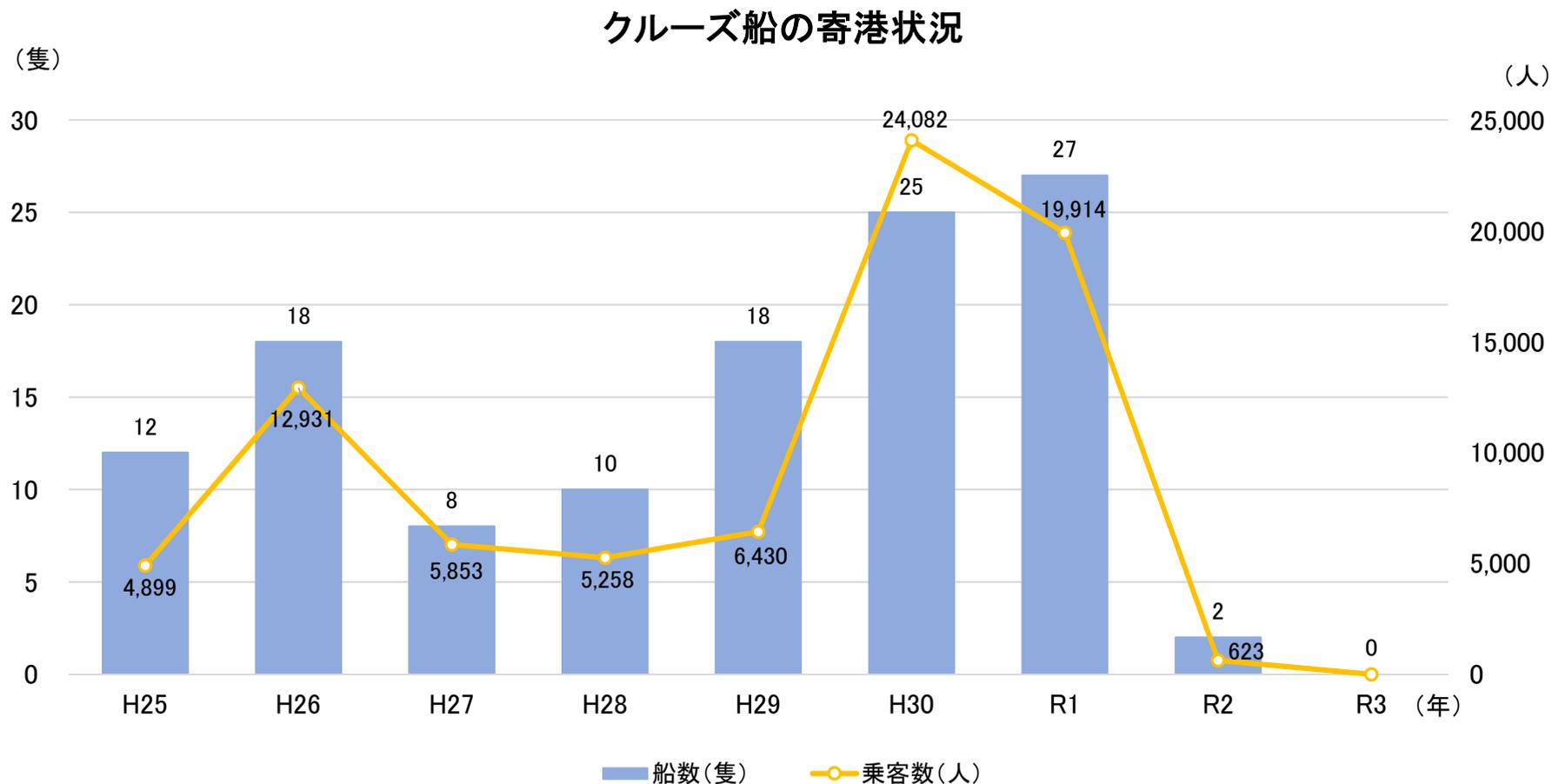


出典：奄美群島観光統計(奄美群島観光の動向)

現 状

- ・外国人延べ宿泊者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年以降は大きく減少している。

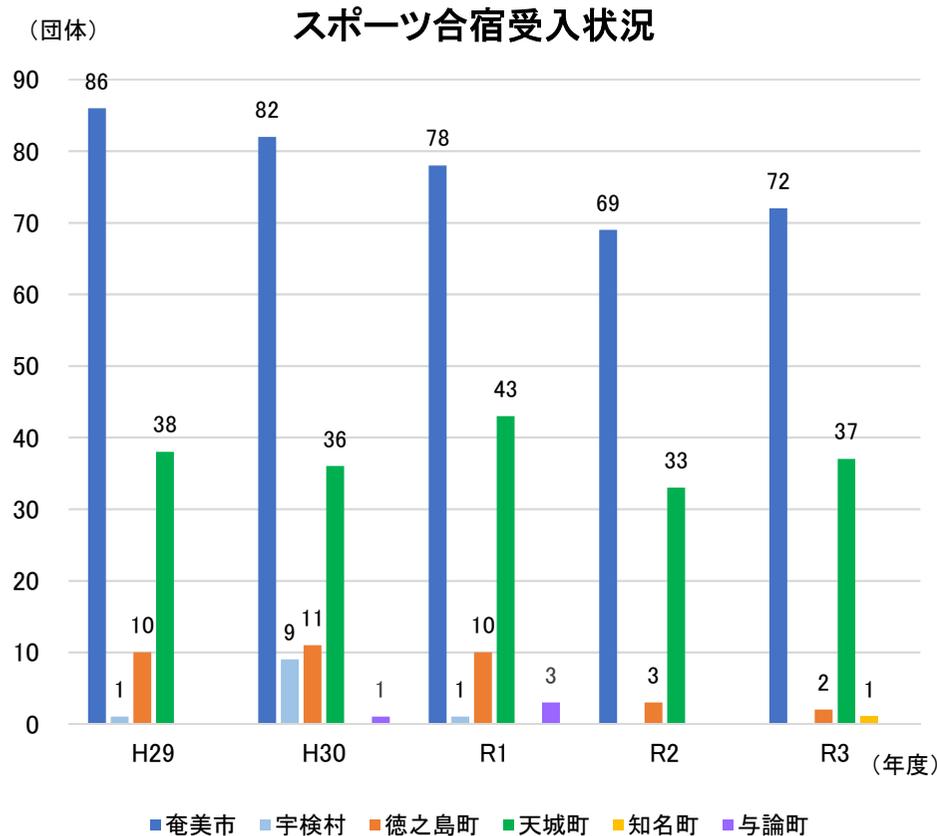
(3)奄美群島の産業に関するデータ(クルーズ船の寄港状況)



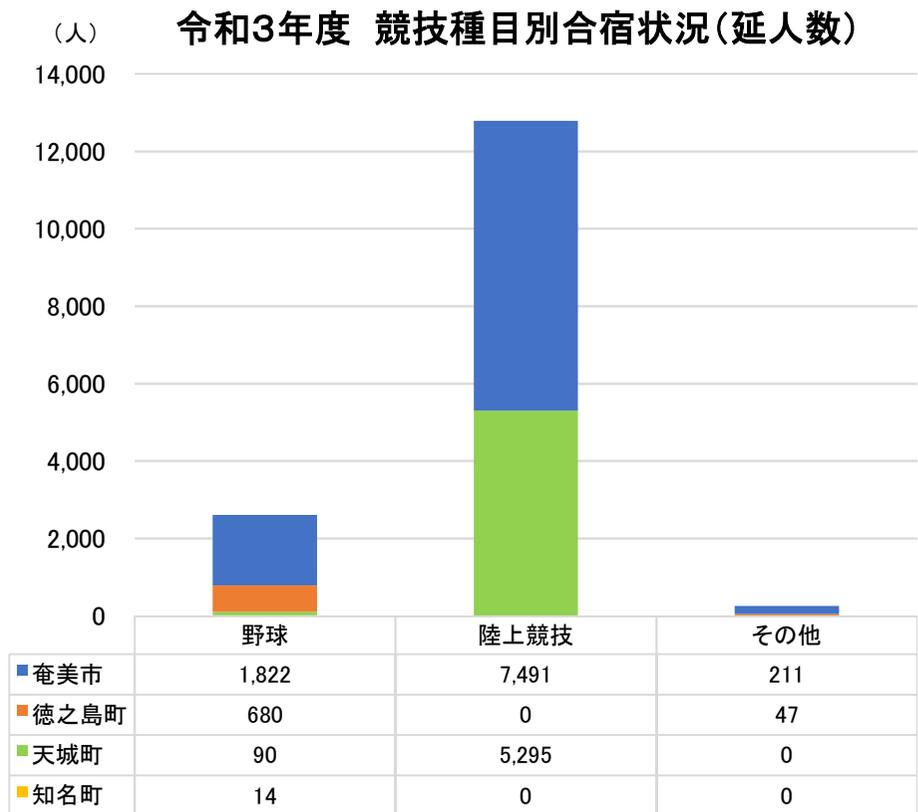
現 状

- ・クルーズ船の寄港回数は概ね増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年以降は大きく減少している。

(3) 奄美群島の産業に関するデータ(スポーツ合宿受入)



出典: 奄美群島観光統計(奄美群島観光の動向)



出典: 奄美群島観光統計(奄美群島観光の動向)

現 状

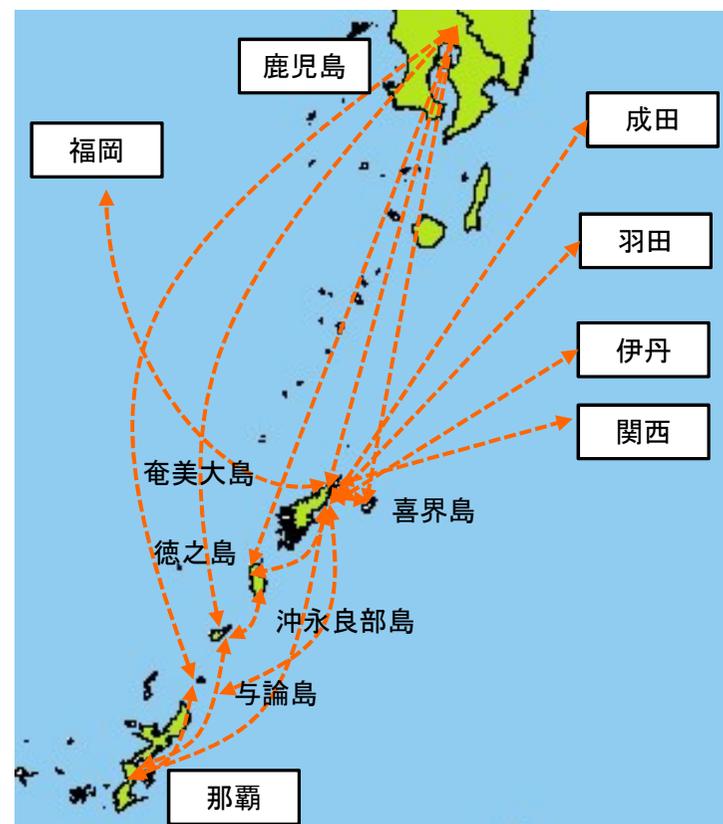
- ・ 冬でも温暖な気候や交通量が少なく程よいアップダウンのある道路を活かし、陸上競技等のスポーツ合宿の受入れが行われている。
- ・ 特に奄美市、天城町などで受入が盛んである。

(4)奄美群島の交通に関するデータ(航空路)

路線	1日発着便数
	R5.3.1現在
奄美大島 ~ 鹿児島	18便
~ 福岡	2便
~ 東京(羽田)	2便
~ 東京(成田)	2便
~ 大阪(伊丹)	2便
~ 大阪(関西)	2便
~ 喜界島	4便
~ 徳之島	4便
~ 沖永良部	-
~ 与論	1便
~ 沖縄	1便
喜界島 ~ 鹿児島	4便
徳之島 ~ 鹿児島	8便
~ 沖永良部	2便
沖永良部 ~ 鹿児島	6便
~ 与論	-
~ 沖縄	2便
与論 ~ 鹿児島	2便
与論 ~ 沖縄	3便

※曜日による変更がある

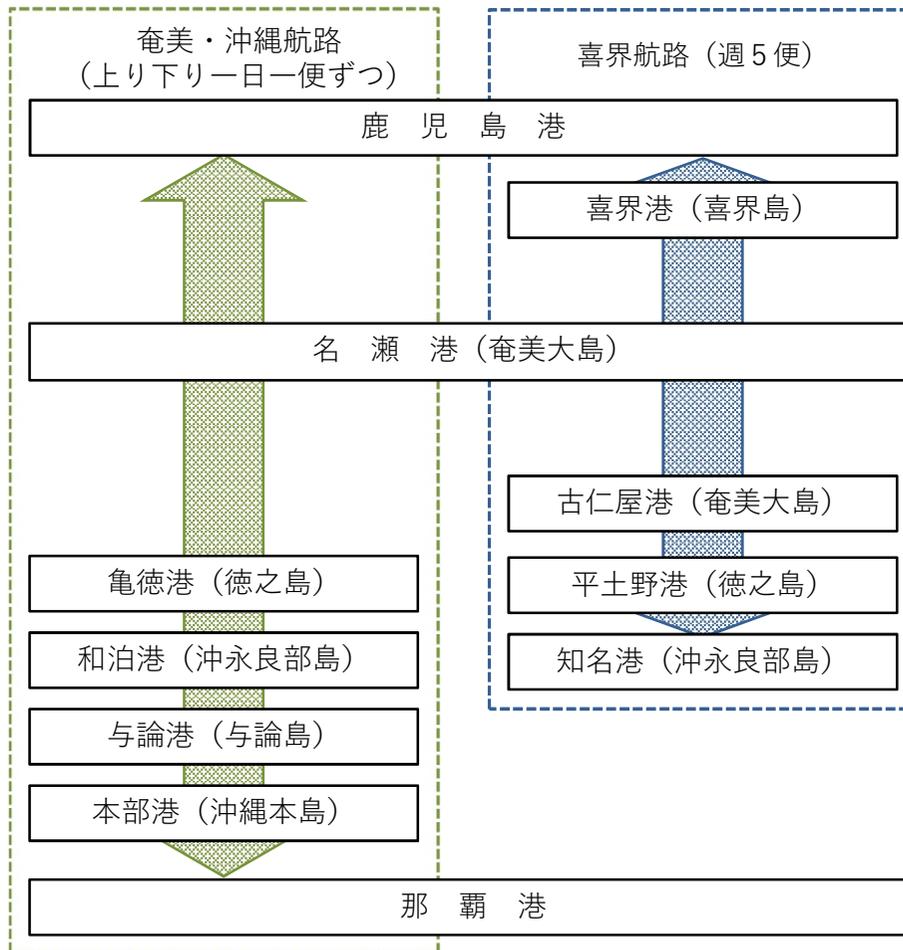
特別地域振興官調べ



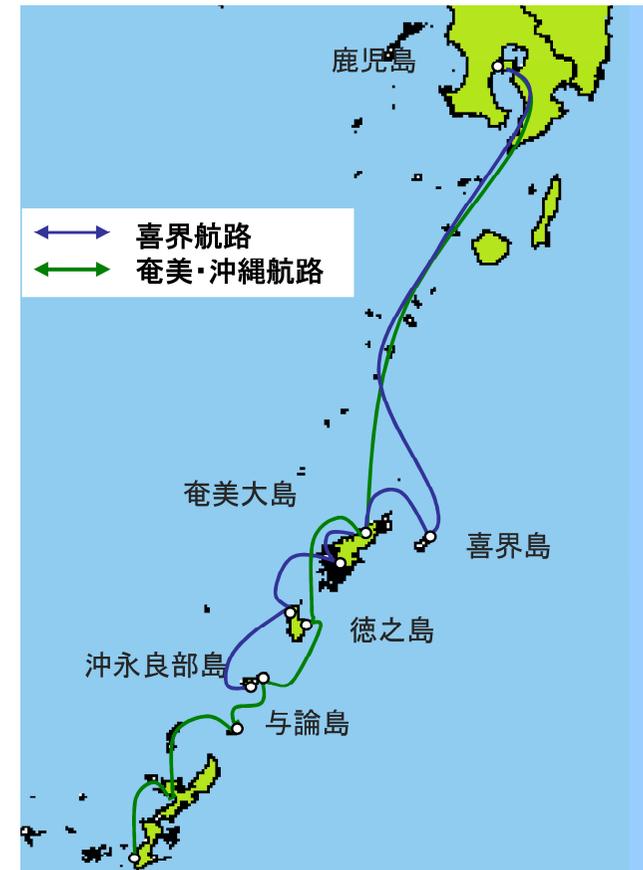
現 状

- ・鹿児島、福岡、東京、大阪、沖縄の5地域との間に直行便が就航している。

(4) 奄美群島の交通に関するデータ(航路)



特別地域振興官調べ



現 状

- ・ 鹿児島港を起点とし、那覇港を終点とする航路（奄美・沖縄航路）は、上り下りとも毎日一便ずつ運航。
- ・ 鹿児島港を起点とし、喜界港を經由、平土野港（徳之島）または知名港（沖永良部島）を終点とする航路（喜界航路）は、週5便運航。

(4)奄美群島のインフラに関するデータ(主要インフラ整備率)

主要インフラの整備率の推移

(単位: %)

	水道普及率				水洗化人口率				汚水処理人口普及率			
	H20年度	H25年度	H30年度	R3年度	H20年度	H25年度	H30年度	R3年度	H20年度	H25年度	H30年度	R3年度
奄美群島	98.6	98.7	99.0	99.4	72.1	82.4	83.1	—	—	61.5	69.4	74.4
全国	97.5	97.7	98.0	98.1	90.7	93.5	—	—	84.4	89.9	91.4	92.6

出典: 鹿児島県資料、環境省・農林水産省・国土交通省合同汚水処理人口普及状況について

(単位: %)

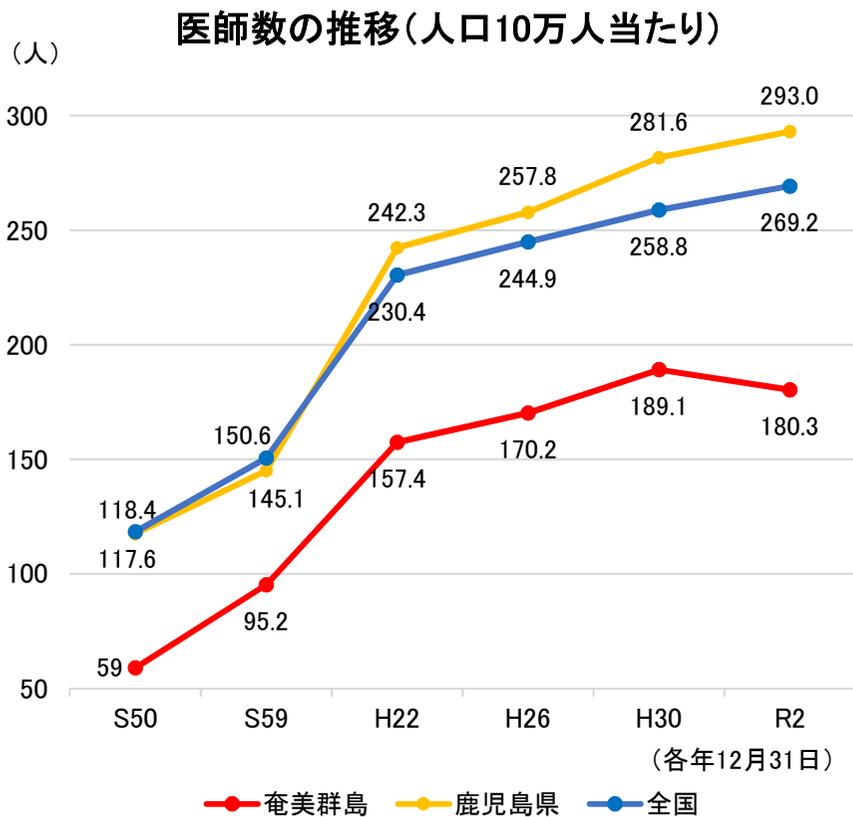
	国・県道改良率 (幅員5.5m以上)				市町村道改良率 (幅員5.5m以上)			
	H20年度	H25年度	H30年度	R2年度	H20年度	H25年度	H30年度	R2年度
奄美群島	79.2	81.5	82.2	82.8	16.2	16.9	18.4	19.3
全国	75.0	76.5	77.4	—	17.5	18.2	18.7	—

出典: 鹿児島県資料、道路統計年報

現 状

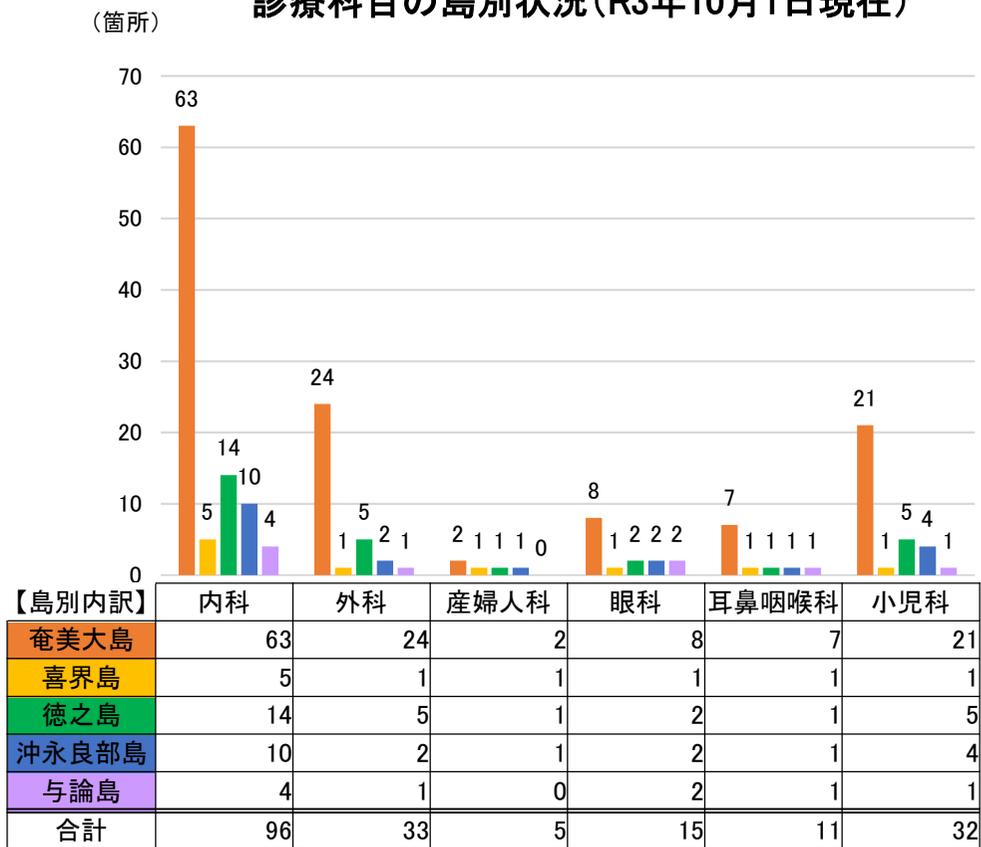
- ・主要インフラの整備率は、各種公共事業の実施により向上してきているが、水洗化人口率、汚水処理人口普及率等、全国に比べて整備が遅れている分野もある。

(5)奄美群島の生活に関するデータ(医療)



出典:奄美群島の概況、鹿児島県の医師の現状

診療科目の島別状況(R3年10月1日現在)

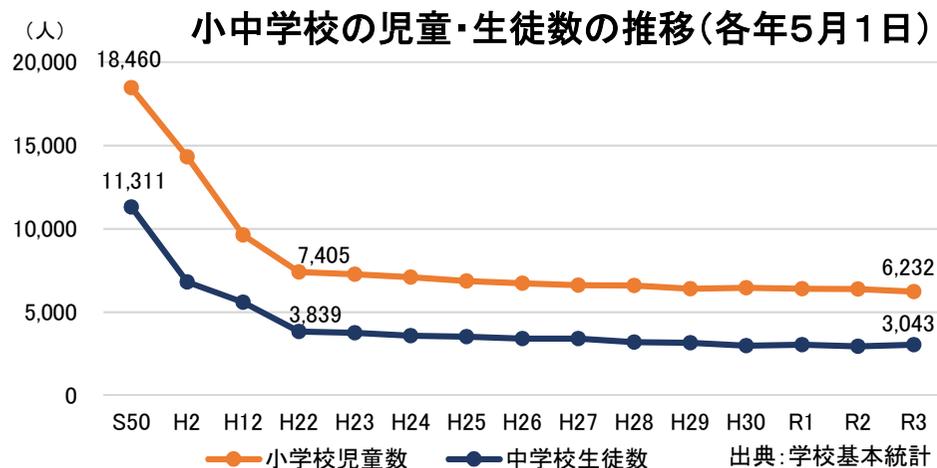


出典:奄美群島の概況

現 状

- ・人口10万人当たり医師数は、鹿児島県や全国の水準を大幅に下回っている。
- ・開設されている診療科目は、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科が特に少ない状況である。

(5) 奄美群島の生活に関するデータ(教育)

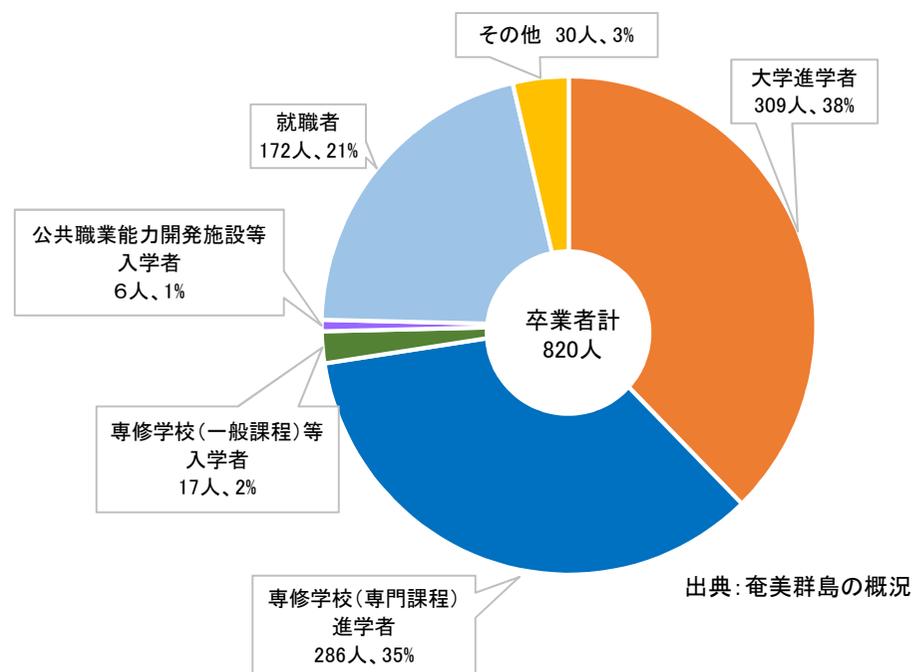


公立高等学校・私立高等学校の一覧

公・私	学校名	全・定	学級数	生徒数 (人)	教職員数 (人)	所在地
公立	大島	全	19	714	57	奄美市
	奄美	全	18	384	74	奄美市
	奄美	定	4	32	11	奄美市
	大島北	全	6	117	30	奄美市
	古仁屋	全	3	100	24	瀬戸内町
	喜界	全	6	139	28	喜界町
	徳之島	全	9	248	43	徳之島町
	沖永良部	全	9	234	31	知名町
私立	与論	全	4	108	30	与論町
	樟南第二	全	13	235	43	天城町
合計			91	2,311	371	

出典: 地区教育行政要覧 令和3年4月6日

高等学校卒業者の進路状況(令和3年3月)



現状

- ・昭和50年に比べ、児童・生徒数は大きく減少している。
- ・高等学校卒業者の進路状況は、大学進学者が38%と一番多く、次いで専修学校(専門課程)進学者が35%、就職者が21%となっている。